

第3学年 国語科学習指導案

児童 1組 男子10名 女子12名 計22名
指導者 工藤理香

- 1 単元名 大事なことをたしかめよう
教材名 「すがたをかえる大豆」「食べ物はかせになろう」 (光村図書 3年下)

2 単元の構成

(1) 教材について

本教材は、小学校第3学年及び第4学年の「C読むこと」の内容(1)イ「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、文章を正しく読むこと。」オ「目的に応じて内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら文章を読むこと。」を受け、「中心となる語や文、段落相互の関係に注意して文章を読む。」ことを目標としている。

また、「B書くこと」の内容(1)イ「書く必要のある事柄を収集したり選択したりすること。」エ「書こうとする事を中心を明確にしながら、段落と段落との続き方に注意して書くこと。」を受け、「本での調べ方を知り、身近な食べ物について調べ、分かりやすくまとめて友達と交流する。」ことを目標としている。

本単元は、第1次教材の説明的な文章を段落や重要語句などに注意しながら読み取る学習と、教材文の内容を参考に、自分で調べたいものを選んでそれに関する情報を集めて文章にまとめ、交流する学習から構成されている。

第1次教材「すがたをかえる大豆」は、大豆の加工法を紹介した文章である。大豆の味と栄養を保つための工夫としての加工の種類について、5つの事例で説明している典型的な解説型の説明的な文章である。内容的には児童にも身近なものであるが、大豆の加工食品は、見ただけでは大豆からできているとは思われないものも多く、その意味では、児童に意外性をもって知ることの喜びを与える内容ともいえよう。また、説明的な文章教材としても、段落構成や中心となる語句や文が明確で、その書き表し方のよさにも気づくことができると考えられる。

第2次教材「食べ物はかせになろう」では、第1次教材を活かし、身近な食べ物について調べ、文章にまとめてそれを交流する教材である。疑問や興味をもった事柄についてさまざまな本で調べ、集めた情報を目的に従って文章にまとめていく。今後の国語学習だけでなく、情報活用の基礎となる力を育成する重要な教材でもあると考える。

(2) 児童について

7月に行った国語の意識アンケートの結果は次の通りである。

- ①国語の勉強は好きですか。(「どちらかといえば」も含む)・・・73%
- ②説明文の学習は好きですか。(「どちらかといえば」も含む)・・・91%
- ③説明文の学習で、自力で課題の答えを見つけられますか。
(「見つけることが多い」も含む)・・・73%
- ④読書は好きですか。(「どちらかといえば」も含む)・・・91%
- ⑤自分の考えを発表できますか。(「どちらかといえば」も含む)・・・86%

アンケートの結果をみると、音読、漢字など、国語の学習に苦手意識をもっている児童がいる反面、説明文の学習には興味をもち、意欲的に取り組んでいる児童が多いことが分かる。また、できるだけ発表の機会を確保してきたことで、自分の考えを発表しようという児童も増えてきた。

以上をふまえ、本単元を通して、児童の興味、関心を大切に読み進め、中心となる語句や文、段落構成に気をつけて読み取っていけるように学習展開を工夫したい。また、児童が自分の考えをもてるような手だてを取り、「一人学び」「学び合い」の時間を大切にしていきたい。

(3) 指導にあたって

第1次教材の「つかむ」段階では、実物や写真を使って大豆について興味・関心をもたせ、大豆を使った食品を確認して、文章構成の大体を押さえた上で読み取りにはいれるようにする。また、重要語句等が一目でわかるように色分け表示をし、読み取る際の一助となるようにする。これらを視覚的に掲示し、仮説1の〈板書構成の工夫〉に生かせるようにする。

「ふかめる」段階では、児童の疑問や興味が生かされる課題を設定し、重要語句、接続語、文末表現等を意識して中心文や大事なことをとらえることができるようにする。また、板書や掲示を活用することで、全体の中での段落の役割を理解し、中心文をおさえてより深い読み取りができるように配慮する。「くふう」を読み取る段落では、分かりやすく図に表していく中で読みを確かなものにしていきたい。これらの学習活動を繰り返すことで「一人学び」の活動のイメージが児童に定着し、「一人学び」が成立すると考える。その上で、仮説2の〈「学び合い」の場の工夫〉として、ねらいの明確な発問を工夫して、さらに読み深めていくことができると考える。

「まとめる」段階では、読み取ったことに対する自分の考えを交流する場とし、読みをより確かなものにしていく。

また、仮説3の〈評価の積み重ね〉については、意欲につながるような言葉をかけながら、よい読みや表現に気づいていけるように配慮していくこととする。

第2次教材では、調べることを決める、本を探し調べたい事柄を選び出す、書き出す、文章にまとめるなどの各段階について、第1次教材の書き方を参考例にして学習が進められるようにし、その上で個別にも支援していきたい。この学習の進め方は、今後の様々な調べ学習の基礎となるものであるため、その点を子ども達に意識させ、丁寧に指導していきたい。

3 単元の見目標

- ◎ 身近な食べ物についての知識を得るとともに興味を広げる。
 - ◎ 中心となる語や文、段落相互の関係に注意して文章を読む。
 - ◎ 本での調べ方を知り、身近な食べ物について調べ、分かりやすくまとめて友達と交流する。
- 〈国語への関心・意欲・態度〉
- ・身近な食べ物についての知識を得るとともに、興味をもって読み広げようとしている。
- 〈読む能力〉
- ・段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に理解する。〔イ〕
 - ・内容を大きくまとめたり、必要などころは細かい点に注意したりしながら読む。〔オ〕
- 〈書く能力〉
- ・調べて書く必要のある事柄を収集したり、選択したりする。〔イ〕
 - ・書こうとすることの中心を明確にしなが、段落と段落の続き方に注意して書く。〔エ〕
- 〈言語についての知識・理解・技能〉
- ・文章全体における段落の役割を理解する。〔オ(イ)〕
 - ・漢字や言葉の意味・使い方を知る。

4 単元の指導計画と評価規準 (全19時間「読む」9時間、「書く」10時間)

第1次「すがたをかえる大豆」(9時間)

段階	時	主な学習内容	評価規準 (評価方法)		
			国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
つかむ	1	○全文を通読して内容の大体をつかみ、学習のめあてをもつ。 ・題名について話し合う。 ・全文を読み、感想を書く。 ・どうして姿をかえてきたかを読み取るというめあてをもつ。	題名に関心を持ち、初めの感想をもとに学習のめあてをもとうとしている。 〈態度・発言・ノート〉	全文を読み、感想をまとめる。(分かったこと、疑問等) 〈発言・ノート〉	新出漢字を含め正しく音読できる。 〈音読〉

	2	○学習計画を立て、学習の見通しをもつ。 ・接続語や文末表現、重要語句から中心文を確認し、簡単な小見出しをつける。 ・学習計画を立てる。 ・新出漢字や語句について調べる。	どんな食品が出てきたかを話し合い、中心文を探そうとしている。 〈態度・発言・ノート〉	小見出しをつけながら文章構成の大体を把握し、学習の見通しをとらえている。 〈発言・ノート〉	新出漢字や語句の意味を理解している。 接続語や文末表現の役割を理解している。 「はじめ」「中」「終わり」という文章構成に気づいている。 〈発言・ノート〉
ふかめる	3	○筆者の提示した話題について読み取る。①②段落 ・大豆とは何か、なぜおいしく食べるためのくふうをしているのかを読み取る。	筆者の話題提示の内容を見つけようとする。 〈態度・発言〉	筆者の提示した「大豆」の特徴について読み取ることができる。 〈発言・ノート〉	接続語、文末、重要語句に気をつけて読んでいく。 〈発言・ノート〉 「大豆」「くふう」 指示語→(全体に共通) 「すがたをかえる」 「～のです。」「そのため」
	4	○おいしく食べるための工夫1・2を読み取る。 ③④段落 ・調理の工夫やできる料理、食品という観点で読み取る。	おいしく食べるための工夫を読み取ろうとしている。 〈態度・発言・ノート〉	2つの工夫をと料理、食品を詳しく読み取ることができる。 〈発言・ノート〉	「いちばん分かりやすい」 「いる」「にる」 「次に」 「(こなに) ひく」
	5	○おいしく食べるための工夫3を読み取る。⑤段落 ・どんな工夫をして大豆をとうふにかえたのかを読み取る。	大豆がとうふになるまでの工夫を読み取ろうとしている。 〈態度・発言・ノート〉	大豆に含まれる大切な栄養だけを取り出す工夫を詳しく読み取ることができる。 〈発言・ノート〉	「また」「えいよう」 「熱する」「すりつぶす」 「白っぽい」 「しぼる」「かためる」 「ニガリ」
	6	○おいしく食べるための工夫4について読み取る。 ⑥段落 ・どんな工夫をして大豆をなっとうやみそ、しょうゆにかえたのかを読み取る。	大豆がなっとうやみそ、しょうゆになるまでの工夫を読み取ろうとしている。 〈態度・発言・ノート〉	ナットウキンやコウジカビの力をかりて、なっとうやみそ、しょうゆにする工夫を詳しく読み取ることができる。 〈発言・ノート〉	「さらに」 「小さな生物」 「ナットウキン」 「コウジカビ」 「むす」 「ゆでる」
	7	○おいしく食べるための工夫5について読み取る。 ⑦段落 ・どんな工夫をして大豆をえだ豆やもやしにしたかを読み取る。	えだ豆やもやしになる工夫を読み取ろうとしている。 〈態度・発言・ノート〉	取り入れる時期や育て方を工夫した食べ方を詳しく読み取ることができる。 〈発言・ノート〉	「これらのほかに」 「ゆでる」
	8	○大豆がいろいろなすがたで食べられてきたわけを読み取る。 ⑧⑨段落 ・大豆のよさとそれに気づいた昔の人の知恵を読み取る。	結論を詳しく読み取ろうとしている。 〈態度・発言・ノート〉	大豆のよさや昔の人の知恵について読み取ることができる。 〈発言・ノート〉	「このように」 「おいしい」 「えいよう」 「多くのちいき」 「ちえ」
	9	○文章構成(話題提示・事例・結論)をつかみ、学習の振り返りをする。	今までの学習をもとに姿を変える食べ物について考えをまとめようとしている。 〈態度・発言・ノート〉	文章構成をつかんでいる。 大豆以外の食べ物にも姿を変える工夫があることに気づくことができる。 〈発言・ノート〉	文章構成を工夫して表現する。 姿を変える大豆以外の食べ物の名前
まとめ					

第2次「食べ物はかせになろう」(10時間)

段階	時	主な活動内容	評価規準〈評価方法〉		
			国語への 関心・意欲・態度	書く能力 読む能力	言語についての 知識・理解・技能
つかむ ひ ろ げ る	1	○学習の見通しをもつ。 ・「食べ物はかせになろう」を読む。 ・学習の進め方を確認する。	「食べ物はかせになろう」の学習の進め方を理解しようとしている。 〈発言・ノート〉	文章にまとめるまでの手順を理解している。 〈発言・ノート〉	新出漢字を含め正しく音読できる。 〈音読〉
	2	○調べ方を学ぶ。 ・「本で調べる」を読む。 ・本の探し方や目次・索引の活用の仕方を練習する。	本の探し方や目次・索引の活用の仕方を理解しようとしている。 〈検索〉	目次や索引を検索して必要な情報を探したりする方法を理解している。 〈検索〉	辞書を利用して言葉を調べる方法を理解している。 〈発言・辞書利用〉
	3	○調べたいことを決めて、まとめ方を学ぶ。 ・調べる食べ物を選び、疑問に思うことを書き出す。 ・調べた事柄の整理の仕方 や作文にまとめ直す方法を 確かめる。	調べる食べ物や調べたいことを決めて、調べた事柄の整理の仕方や文章へのまとめ方を理解しようとしている。 〈発言・ノート〉	調査メモに調べた事柄について大事なことを落とさず書くことや、そのメモをもとに文章構成を構想し文章にまとめることを理解している。 〈発言・ノート〉	分からない言葉は辞書を利用して調べたことを理解している。 〈発言・ノート〉
	4	○本で調べた事柄を書き出し、整理する。	調べたいことについて、進んで調べようとしている。 〈調査メモ〉	調べたことを書き出し、必要な情報を収集・整理している。 〈調査メモ〉	分からない言葉は辞書を利用して調べている。 〈辞書利用〉
	6	○文章にまとめる。 ・整理した調査メモの表をもとに、文章にまとめる。	自分が調べた食べ物の秘密を、文章にまとめようとしている。 〈記述〉	必要な情報を整理・選択しながら文章構成を構想し、食べ物の秘密を文章にまとめている。 〈記述〉	句読点を適切に打ち、段落、敬体と常体に注意したりしながら文章を書いている。 〈記述〉
	8	○推敲する。 ・誤字脱字などを直す。 ・難しい言葉を書き換えたり、説明を加えたりする。	文章に間違いがないか、進んで推敲をしようとしている。 〈推敲メモ〉	誤字脱字や段落、主述の整合、難しい言葉などに気をつけ、推敲をしている。 〈推敲メモ〉	送り仮名の間違いや語尾の不統一がないか確かめている。 〈推敲メモ〉
	9	○清書する。 ・推敲をもとに清書する。	丁寧に清書しようとしている。 〈清書〉	推敲をもとに丁寧に清書している。 〈清書〉	文字の形を整えて書いている。 〈清書〉
	10	○できあがった文章を読み合う。 ・友達と文章を読み合う。 ・評価し合う。	友達の文章の良さを見つけ、参考にしようとしている。 〈評価カード、発言〉	友達の文章の良さに気づいている。 〈評価カード、発言〉	敬体や常体の統一に気をつけて、相互評価カードに書いている。 〈評価カード〉

5 本時の指導 (6 / 19時間)

(1) 目標 大豆がなっとうやみそ、しょうゆにすがたをかえるくふうを読み取ることができる。

(2) 指導にあたって

仮説1〈板書構成の工夫〉に関わって

なっとうやみそ、しょうゆにすがたをかえるくふうを考えていくことを確認し、学習の見通しがもてるようにする。読みとったことを分かりやすく図に表すことで重要語句や順序を確かめ合えるようにする。また、前時までの掲示を活用して読み深められるようにする。

仮説2〈学び合い〉に関わって

全員でどのようにしてなっとうになるのかを読み取り、次にみそについて読み取っていくようにする。「一人学び」では、なっとうや前時までの図を参考にして、大豆からみそになるまでの工程を「大豆→みそ」の矢印の間に書き込んでいくような形で図にまとめるようにする。「学び合い」では、考えた図を発表して全体で意見を交流し、さらに付加修正していくことで読みを確かなものにしていくようにする。

仮説3 〈一人一人の評価の積み重ね〉に関わって

単元を通しての評価カードを通して自分の学習や重要語句等を確認できるようにする。また、単位時間の自己評価をわかったこと、がんばったこと、友達のよさなどをマークと感想で振り返り、その自己評価に対してコメントを書き、意欲を高めるようにする。

(3) 展開

段階	学習内容と学習活動(○発問・児童の反応)	一人	複数	全体	・留意点 評価<評価方法>
つかむ	<p>1 前時の学習を想起する。 ○とうふは、どのような工夫をしてできた食品でしたか。 ・大豆にふくまれる大切なえいようだけを取り出して、ちがう食品にするくふうをしてできた。</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。 大豆をおいしく食べるためにどんなくふうをしているのだろう。 まとめの形を確認する。 大豆をおいしく食べるために〜くふうをしている。</p>				<p>・とうふは、大切なえいようだけを取り出して、ちがう食品にしたものであり、すごいくふうをしてとうふになったことを思い出させて、本時はどうだろうかと、意欲付けをする。 (挙手・発言)</p> <p>・前時までと共通の課題で、今日もくふうを読み取る学習であることを確認する。</p>
5分					
ふかめる	<p>3 解決の見通しをもつ。 ○どんなくふうをしていますか。 ・小さな生物の力をかりて、ちがう食品にするくふう。 ○ちがう食品とは何ですか。 ・なっとう ・みそやしょうゆ</p> <p>4 課題解決をする。 ○第6段落を音読しましょう。 ○「小さな生物の力をかりて、ちがう食品にするくふう」とありますが、なっとうはどのようにしてできますか。 ・ナットウキンの力をかりる。 ・むした大豆にナットウキンをくわえる。 ・あたたかい場所に一日近くおいて作る。</p> <p>◎大豆からみそがどのようにしてできるのかを探しましょう。「大豆→みそ」の矢印の部分に書き込んで図にまとめましょう。 ・コウジカビ ・むした米か麦 ・しお ・にてつぶした大豆 ・ふた ・風通しのよい暗い所 ・半年から一年の間</p>				<p>・「くふう」が書かれている文を全員で確認し、サイドラインを引くように指示する。 ・「さらに、——くふうもあります。」から、もっとおいしく食べるためのくふうがあることを確認する。 ・大豆からなっとうやみそ、しょうゆになるまでのくふうを読み取るという見通しがもてるように提示する。</p> <p>・重要語句を確認して、なっとうができるまでの工程を読み取るようにする。 ・言葉の意味や順序をしっかりと読み取るために、児童の発言を分かりやすく図に表すようにする。</p> <p>・なっとうや前時までの図を参考にして、大豆からみそになるまでの工程を矢印の間に書き込んで図を完成させるように助言する。 ・どう書いて良いか分からない児童には、みその作り方が分かるところにサイドラインを引くように声をかける。 (ノート)</p>

ふかめる	<p>○自分で考えた図を隣同士で説明し合っ て、同じかどうか、どこがちがうのか を考えましょう。</p> <p>◎できた図を説明し、みそがどのように してできるのかをみんなで考えましょ う。</p> <p>○なっとうやみそ、しょうゆを作るとき に必要なものは何ですか。 ・ナットウキンとコウジカビ</p> <p>○これらのものは、今日のくふうでいう とどの言葉にあてはまりますか。 ・小さな生物</p> <p>○どうして、こんなくふうをするのでし ょう。 ・おいしく、食べやすいようにするため ・消化をよくするため</p> <p>5 課題についてまとめる。 ○大豆をおいしく食べるためにどんなく ふうをしているのかまとめましょう。</p> <div data-bbox="231 1355 758 1512" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>大豆をおいしく食べるために、ナットウキンやコウジカビなどの小さな生物の力をかりて、なっとうやみそ、しょうゆにするくふうをしている。</p> </div>	学び合い	<p>・自分と友達の考えや違いをはっきりさせるために、材料や重要語句、みそになるまでの工程があっているかどうかを確かめるようにする。</p> <p>・時間があれば、相談して正しい図に直すように声をかける。</p> <p>・友達の発表について足りないものはないか、ちがうところはないかなど付加修正をしていく。</p> <p>・話し合いをもとに、材料や重要語句、みそになるまでの工程を確認しながら図を完成させる。分かりやすく図に表すことで、教科書の内容をしっかりと読み取ることができるようにする。</p> <p>・しょうゆもよくにた作り方をすることを確認する。</p> <p>・ナットウキンとコウジカビが食品を発酵させる小さな微生物でその力をかりてちがう食品になることを確認する。</p> <p>・この工夫も大豆の欠点を補い、おいしく食べるためのすごいくふうの一つであることを確認する。</p> <p>・まとめに使いたい重要語句を確認して、その言葉を入れながらまとめられるようにする。板書には、重要語句が分かるように工夫する。</p> <div data-bbox="917 1355 1420 1624" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A評価＝大豆が、小さな生物の力をかりてなっとうやみそ、しょうゆになることをその工程にもふれてまとめることができる。</p> <p>Cへの支援＝空欄に重要語句を入れてまとめられるようにワークシートを用意する。</p> </div> <p>〈ノート〉</p>
まとめる 5分	<p>6 学習の振り返りをする。 ○今日の学習を振り返りましょう。 ・まとめと感想を発表する。</p> <p>7 次時の学習を確認する。</p>		<p>・学習を振り返ってマークと感想をふりかえりカードに書くことを指示する。意欲等を配慮し、数名指名する。</p>

《自己評価の観点》

- 見通しをもち、課題の答えを見つけることができたか。
- 自分の考えを発表することができたか。
- 友達の発表のよさに気づくことができたか。

(4) 主な発問と板書計画

<p>3年 「すがたをかえる大豆」〈6 / 19時間目〉</p>	<p>指導者 工藤 理香</p>
<p>本時の指導 (6 / 19時間)</p>	
<p>(1) 目標 大豆がなっとうやみそ, しょうゆにすがたをかえるくふうを読み取ることができる。 (2) 指導にあたって</p>	
<p>仮説1 (板書構成の工夫) に関わって</p>	
<p>なっとうやみそ, しょうゆにすがたをかえるくふうを考えていくことを確認し, 学習の見通しがもてるようにする。読みとったことを分かりやすく図に表すことで重要語句や順序を確かめ合えるようにする。また, 前時までの掲示を活用して読み深められるようにする。</p>	
<p>仮説2 (学び合い) に関わって</p>	
<p>全員でどのようにしてなっとうになるのかを読み取り, 次にみそについて読み取っていくようにする。「一人学び」では, なっとうや前時までの図を参考にして, 大豆からみそになるまでの工程を「大豆→みそ」の矢印の間に書き込んでいくような形で図にまとめるようにする。「学び合い」では, 考えた図を発表して全体で意見を交流し, さらに付加修正していくことで読みを確かなものにしていくようにする。</p>	
<p>仮説3 (一人一人の評価の積み重ね) に関わって</p>	
<p>単元を通しての評価カードを通して自分の学習や重要語句等を確認できるようにする。また, 単位時間の自己評価をわかったこと, がんばったこと, 友達のよさなどをマークと感想で振り返り, その自己評価に対してコメントを書き, 意欲を高めるようにする。</p>	
<p>○なっとうやみそ, しょうゆを作るのに必要なものは何ですか。 ○これらのものは今日のくふうでいうとどの言葉にあてはまりますか。 ○どうして, こんなくふうをするのでしょうか。 ☆大豆をおいしく食べるためにどんなくふうをしているのかまとめましょう。 (まとめる) ○今日の学習を振り返ってみましょう。</p>	<p>主発問等 (つかむ) ○とうふは, どのようなくふうをしてできた食品でしたか。 (ふかめる) ○どんなくふうをしていますか。 ○ちがう食品とは何ですか。 ○「小さな生物の力をかりて, ちがう食品にする工夫」とありますが, なっとうはどのようにしてできますか。 ◎大豆からみそはどのようにしてできるのかを探しましょう。「大豆→みそ」の矢印の部分に書き込んで図にまとめましょう。 ○自分で考えた図を隣同士で説明し合っ つて, 同じかどうか, どこがちがうのかを考えましょう。 ◎できた図を説明し, みそがどのようにしてできるのかをみんなで考えましょう。</p>
<p>まとめ 大豆をおいしく食べるためにナットウキンやコウジカビなどの小さな生物の力をかりて, なっとうやみそ, しょうゆにするくふうをしている。</p> <p>○食べやすい ○消化によい</p> <p>みそ しょうゆもよくにた 半年から一年</p> <p>↑しお</p> <p>風通しのよい すすしい所</p> <p>ふた コウジカビ</p> <p>蒸した 米か麦</p> <p>つぶした 大豆</p> <p>なたとう ナットウ キン</p> <p>あたたかい 一日</p> <p>場所 なっとう</p>	<p>板書計画 すがたをかえる大豆 国ぶん 文 牧まき 衛え</p> <p>課題 大豆をおいしく食べるためにどんなくふうをしているのだろう。</p> <p>さらに 目に見えない小さな生物の力をかりて, ちがう食品にするくふう</p>